

支 出 書

会 派 名	市 民 連 合	整理No. 1 - 1
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	262,680 円	
支出年月日	2019年 7月 19日	
支出内容	7月25日～7月26日 富山県高岡市「在宅医療・介護連携体制推進事業について」、 福井県越前市「外国人児童生徒支援事業について」への出張 旅費	
支 出 先	別添、領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	○有 (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の 内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 <span style="float: right;">印</span>

### 領収書

(金派名) 市民連合

2019年7月19日

(代表者) 法木昭一

¥ 6 5 6 7 0

但し、7月25日～26日

富山県高岡市、福井県越前

市への出張旅費

上記正に領収いたしました

[内訳]

	金額	摘要
交通費	44,670円	高岡市・越前市
日当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
( )	65,670円	

(金派名) 市民連合

(名前) 川崎卓志



### 領収書

(金派名) 市民連合

2019年7月19日

(代表者) 法木昭一

¥ 6 5 6 7 0

但し、7月25日～26日

富山県高岡市、福井県越前

市への出張旅費

上記正に領収いたしました

[内訳]

	金額	摘要
交通費	44,670円	高岡市・越前市
日当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
( )	65,670円	

(金派名) 市民連合

(名前) 法木昭一



### 領収書

(金派名) 市民連合

2019年7月19日

(代表者) 法木昭一

¥ 6 5 6 7 0

但し、7月25日～26日

富山県高岡市、福井県越前

市への出張旅費

上記正に領収いたしました

[内訳]

	金額	摘要
交通費	44,670円	高岡市・越前市
日当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
( )	65,670円	

(金派名) 市民連合

(名前) 池上文夫



### 領収書

(金派名) 市民連合

2019年7月19日

(代表者) 法木昭一

¥ 6 5 6 7 0

但し、7月25日～26日

富山県高岡市、福井県越前

市への出張旅費

上記正に領収いたしました

[内訳]

	金額	摘要
交通費	44,670円	高岡市・越前市
日当	6,200円	2日
宿泊料	14,800円	1泊
( )	65,670円	

(金派名) 市民連合

(名前) 西本章



領収書添付用紙

支出書整理No. 1 - 1

市民連合

研究研修・調査報告書

会 派 名	市 民 連 合	報 告 日	2019年 8月 1日
代 表 者	法 木 昭 一 (印)	報 告 者	池 上 文 夫 (印)
参 加 者	川崎 卓志 法木 昭一 池上 文夫 西本 章		
実 施 日	2019年 7月 25日 ~ 2019年 7月 26日		
研究研修・調査等の場所	富山県高岡市 福井県越前市		
目 的	富山県高岡市 在宅医療・介護連携体制推進事業について 福井県越前市 外国人児童生徒支援事業について		

研究研修・調査等の概要

高岡市 在宅医療・介護連携体制推進事業について  
 日 時 2019年7月25日(木) 14:00 ~ 15:30  
 場 所 高岡市議会  
 対 応 高岡市議会 坂林永喜副議長 関本尚彦主任  
 高岡市 福祉保健部 高齢介護課長 森川朋子  
 地域包括ケア推進係長 大野美喜子

「在宅医療と介護の連携推進に向けて」高岡市は、全国的に見ても先進的な取り組みがされており、その具体的な事例を参考にしたく今回視察に伺った。

高岡市における在宅医療・介護連携体制推進事業は、その特徴の一つに市内の医師会との連携がスムーズになされていました。

連携事業では、特に認知症の相談機関として市内58名の医師が相談医師として登録済みで、高岡市の人口規模を我が福山市に比例すれば約150人の医師の登録ということになり、認知症に対する支援事業が医師会との連携をひとつとってみても相談医制度が進んでいることが伺えました。

また、これらの取り組みは国の指針が示される以前から、高岡市は先進的になされていました。高岡市医師会の協力による高岡市認知症相談制度は、2012年11

月に市医師会として医師 58 名を相談医の名簿掲載し、この相談医は介護事業の 11 カ所の圏域毎に配置し、地域包括支援センターと綿密に連携しながら高齢者の在宅支援体制の強化を図っていました。

また、特徴の一つに相談医が生活支援を必要とする高齢者等を把握した場合は、地域包括支援センター連絡する等、相互に連携して支援を行うよう充実した制度運営がなされていました。現在、高岡市の高齢化率は 32.8% (56, 110 人)、要支援・要介護認定者 10, 728 人 (うち第 1 号被保険者 10, 541 人)、ひとり暮らし登録者数 2, 404 人、日常生活圏域 11 圏域 (地域包括支援センター 11 カ所)。

地域包括支援センターの主な業務は、健康や生活上の心配や困りごとがあれば、自宅への訪問・地域包括支援センターへの来所・電話等にて相談に応じる総合相談。高齢者の尊厳のある暮らしを守るなど、虐待防止・早期発見・財産管理の支援などの権利擁護。自立した生活ができるよう支援する介護予防事業。暮らしやすい地域づくりの支援としてケアマネージャーの支援や地域のネットワークづくりなど、地域包括支援センターのきめ細かい対応も参考になりました。

さらに、高岡市の先進的な認知症対策の背景の一つに、富山県の認知症医療センターが高岡市内に設置され、県の条件整備ができていました。

今回の高岡市の視察は、今後の福山市の認知症対策の充実、とりわけ認知症を専門とする相談医制度の確立に向けた市医師会との連携協力体制への取り組みなど、参考となる事例を見聞できました。

#### <参考資料>

パンフレット：「在宅医療と介護の連携推進に向けて」高岡市高齢介護課発行

レジュメ：高岡市における在宅医療・介護連携体制推進事業 高岡市高齢介護課発行

冊子：高岡市介護連絡帳 高岡市介護サービス事業者連絡協議会・高岡市

#### 越前市 外国人児童生徒支援事業について

日時 2019 年 7 月 26 日 (金) 10:00 ~ 11:30

場所 越前市議会

対応 越前市議会 中島康雄 市議会事務局次長

越前市教育委員会 教育振興課長 橋本尚子

〃 〃 学校教育指導室長 小林英典

〃 〃 外国人児童生徒対応支援員 関孝夫

越前市の外国人児童生徒支援事業は、年々増加していく外国籍の児童生徒に対して、日本語を始め、授業や学校生活の支援を行うことを目的にスタートしています。

その特色は、外国人児童生徒支援員を外国籍児童生徒在籍数の多い学校に配置又は、巡回指導体制を執られていました。(2018 年体制)

#### ① 市単独

- ・ことば指導員 (初期日本語指導) 2 名
- ・アクセスワーカー (翻訳、通訳、保護者との連絡仲介) 5 名
- ・教育補助員 (授業場面での学習支援) 5 名
- ・対応支援員 (支援体制運営業務) 2 名

#### ② 県加配

- ・外国人児童生徒教育担当教諭の配置 6 名

このように越前市が主体となって、県と連携しながら外国人児童生徒支援事業の取り組みがなされていました。

越前市の説明では、外国人児童生徒の在籍数が年々増加していく中で、この子どもたちの教育環境を整えていくことが急務との認識の基に、教育委員会のみならず、市全体の課題として捉え、その充実に向けた取り組みを全市的な課題としての取り組みを行ってきたことが報告されていました。

外国人児童生徒の在籍数の推移は、2015年が小学校117人、中学校が50人、2019年度が小学校が150人、中学校が68人、割合は2019年度小学校が3.50%、中学校が2.97%となっていました。市全体での外国人の在籍数は、越前市の人口83,061人のうちブラジル人が2740人、割合で約7割となっています。

支援体制においては、日本語初期指導員2名、アクセスワーカー6名、日本語基礎指導員7名、学校運営支援員3名、外国人児童生徒対応支援員2名（通訳1名）、外国人児童生徒教育担当教諭6名（日本語加配教員）。このように支援体制は、充実したものとなっていました。

支援の流れは、まず最初に日本語初期指導（初期指導）として、日本語が全く話せない子どもに、指導員が学校に出向いて学校生活に必要な最低限の日本語をサポートしていきます。（期間は、個人差があるが、2から4か月程度）その後、ある程度日本語を理解したら、日本語基礎指導員、日本語加配教員による指導。

また支援体制の内容・勤務体制等についての説明では、外国語翻訳機の導入では国・県・市がそれぞれ3分の1づつの割合で負担している。また国際理解教育の推進、国際交流協会との連携、指導方法、指導内容の情報共有化、タブレット端末の活用、プレクラスの指導の充実など、積極的な支援が行われていました。

この他、就学予定者に対する入学説明会の開催、日本の学校教育、就学・転学の手続きについて、学校生活について、教育相談について、入学するまでについてなど、副読本の活用など、様々な支援が行われていました。

越前市の充実した支援について、今回の視察で多くのことについて参考にさせていただきました。我が福山市にあってもこの内容を参考に、さらに良い支援事業を進めていきたいものです。

<参考資料>

レジュメ 越前市の外国人児童生徒支援事業

〃 平成29年度越前市教育方針

以上

支 出 書

会 派 名	市 民 連 合	整理No. 1 - 2
科 目 (該当○印)	① 調査研究費 2 研 修 費 3 資料作成費 4 資料購入費 5 広 報 費 6 広 聴 費 7 要請・陳情活動費 8 会 議 費 9 人 件 費 10 事 務 所 費	
金 額	59,380 円	
支出年月日	2019年 10月 7日	
支出内容	9月30日～10月 1日 鹿児島県鹿児島市「鹿児島市中央卸売市場視察研修」への出張旅費	
支 出 先	別添、領収書のとおり	

領 収 書 (該当○印)	○有 (別紙の領収書添付用紙へ添付)
	無 領収書を添付することができないため、上記の内容の支出をしたことを証明する。 会派の代表者名 <span style="float: right;">印</span>

(領収書添付欄)

※領収書が重ならないよう1枚ずつ添付してください。

## 領 収 書

(会派名) 市民連合

2019年9月24日

(代表者) 法 木 昭 -

¥ 5 9 3 8 0

但し、9月30日～10月1日

鹿児島県鹿児島市への出張

旅費

[内 訳]

上記正に領収いたしました

	金 額	摘 要
交 通 費	38,380円	鹿児島市
日 当	6,200円	2 日
宿 泊 料	14,800円	1 泊
計	59,380円	

(会派名) 市民連合

(名 前) 池上 文夫



研究研修・調査報告書

会 派 名	市 民 連 合	報 告 日	2019年 10月 4日
代 表 者	法 木 昭 一 (印)	報 告 者	池 上 文 夫 (印)
参 加 者	池 上 文 夫		
実 施 日	2019年 9月 30日 ~ 10月 1日		
研究研修・調査等の場所	鹿児島県鹿児島市 鹿児島市中央卸売市場		
目 的	鹿児島市中央卸売市場視察のため		
研究研修・調査等の概要			
<視察目的・内容> 鹿児島市中央卸売市場について 【視察スケジュール】 10月1日(火) 5:30 ~ 6:30 市場視察(魚類) 競り売り見学 6:30 ~ 7:30 朝食(市場内店舗) 8:30 ~ 9:30 意見交換会 9:40 市場出発 【鹿児島市中央卸売市場関係者】 魚類 市場長 迫 裕一 主幹 寺師 俊孝 主査 横山 中			



主任 坂本 圭史

主事 迫 佑樹

青果 市場長 祝井 敏明

係長 高橋 秀幸

【市場視察】

1935年(昭和10年)に業務開始した鹿児島中央卸売市場は、魚類市場が1967年に、また青果市場が1976年にそれぞれ現在地に移転し業務を続けてきていましたが、施設の老朽化が著しい状況から、両市場の施設整備に取り組まれてきました。

この整備については、青果市場が今年3月にリニューアル整備が完了し、魚類市場については、2021年度(令和33年度)の完成に向けて再整備事業に取り組まれていました。

今回視察した魚類市場については、現在、計画の2分の1が完成しており、残りの2分の1は年次計画に基づいて工事が進められることとなっており、全面完成までは仮設の施設で営業されていました。仮設の施設でも生鮮食品を扱う施設だけに、衛生面は万全を期している施設でありました。

今度の視察では、青果市場部門についての視察は施設が離れていることと、日程の時間的都合で視察ができませんでした。

鹿児島中央卸売市場は、施設面で言えば面積・衛生面等、沢山の課題について参考になりました。また営業面や小学校などの課外授業などにおいても、卸売市場が果たす役割においても、積極的な対応がなされており、今後の福山市の市場の役割等で参考にできる内容でした。

今回の視察では、福山市の地方卸売市場が抱える施設の整備に向けて、大いに参考になった視察でありました。この視察の内容を今後の施設整備に生かすべく、市場関係者と将来を見据えた積極的な協議が望まれる。

以上